

種苗、農具、舶來雜貨
和洋家具、漆器類其他

デパートメント
ストーア
札幌停車場通リ
五番館
電話 五番六番

發明品
特許品
小博覽會

札幌區南二條西四丁目
(停車場通リ)



商號

發明界

電話 八百三十四番

旅館

札幌區北三條西三丁目

中村屋

電話 六百十六番

札幌
旅館

誠實鄭重宿料特別廉值

佐野屋

電話 四百三十一番

停車場送迎仕候

旅館

札幌區北一條西三丁目

佐々木源六

電話 百五十七番

高等
旅館

札幌區北一條西四丁目

岩崎旅館

電話 二百六十番

新築
落成

高等旅館

司加藤長九郎

札幌區大通西四丁目

電話三三七番

旅館

札幌區大通り西四丁目

因加藤喜藤次

電話

高等
旅館



山口屋

鈴木敏武

札幌區北一條西三丁目

電話二百三十七番

札幌
旅館

山形屋
大竹敬助

電話 七五六一
五十二

御料理仕

柳川 出

札幌區北三條東二丁目
東京庵支店

嬉

電話 二百三十三番

御料理仕

鯉衛 生 出

札幌區南三條西二丁目

菊水戸崎

電話 八百十九番

西洋御料理 吉洋食店

札幌區南一條西四丁目

電話三百二十一番

バスー
グ
製造販賣 吉牛肉店

札幌區南一條西四丁目

電話三百二十一番

入院隨意

●札幌整骨病院 院長 中村百合之允

北一條西三丁目角(停車場通)

電話 二百五十六番

新◎整

札幌北一條 吉田眼科病院

(電話 七二五番)

築◎頓



御料理

札幌區南二條西一丁目

時の家

電話 四十四番

増築落成

鳥

- 室内
- 清潔
- 衛生

札幌南三西二

電話三三八番

- 丁寧
- 勉強
- 調進

御料理 仕出し

北三東二

末

廣

電話 八五五番

友之海北

札幌之旗亭

會席

御料理

東京庵

電話(六十五)

に宜し春は花見夏は納涼秋は觀楓冬は雪見に好適す亦第七師團長大迫將軍の銅像
其他博物館及び物産陳列場等あり亦大通り西八丁目の中央に黒田伯の銅像あり而
して市街を距る約七里豊平川の上流に本道有名なる定山溪の温泉あり四圍の眺望
絶佳にして浴客亦多し
旅館は山形屋山口屋丸惣丸新等あり又旗亭は幾代東京庵時の家丸吉洋食店等あり
共に盛況を呈せり

● 岩見澤驛

岩見澤は空知郡にあり戸數八千に近く人口二方を有する都市にして空知支廳の所
在地なり市街は停車場繞りを以て最も繁華とし家屋軒を列ねて商況盛なり此地室
蘭札幌間に於ける唯一の大驛たるのみならず管内線幾春別線歌志内線室蘭線手宮
線の各線分岐乗換驛にして舊炭礦鐵道の附屬鐵工所あり停車場構内亦巨大にして
他驛に多く見ざる程の建築なり

友 之 海 北

に宜し春は花見夏は納涼秋は観楓冬は雪見に好適す亦第七師團長大迫將軍の銅像
其他博物館及び物産陳列場等あり亦大通り西八丁目の中央に黒田伯の銅像あり而
して市街を距る約七里豊平川の上流に本道有名なる定山溪の温泉あり四圍の眺望
絶佳にして浴客亦多し
旅館は山形屋山口屋丸惣丸新等あり又旗亭は幾代東京庵時の家丸吉洋食店等あり
共に盛況を呈せり

● 岩見澤驛

岩見澤は空知郡にあり戸數八千に近く人口二万を有する都市にして空知支廳の所
在地なり市街は停車場通りを以て最も繁華とし家屋軒を列ねて商況盛なり此地室
蘭札幌間に於ける唯一の大驛たるのみならず幌内線幾春別線歌志内線室蘭線手宮
線の各線分岐乗換驛にして舊炭礦鐵道の附屬鐵工所あり停車場構内亦巨大にして
他驛に多く見ざる程の建築なり

官公衙としては空知支廳郵便電信局警察署稅務署町役場郡農會登記所其他學校等とし亦金融機關としては北海道銀行岩見澤支店其他二三あり然して幌内炭山は開拓使の開坑に係れるものにして舊炭礦會社の買受たるものなり尙當礦山は一ヶ年の産額二十万噸餘に達し幾春別炭山は岩見澤支線十一哩の所にあり其産額幌内炭山に劣らず然して岩見澤停車場を距る約一里の地に岩見澤溫泉あり冷礦泉にして泉質白濁色をなし鹽味を帯び頗る良礦泉なり

● 幌内太驛

當驛は空知郡幌内太村字幌内太にあり右方幌内左方幾春別に入るの分岐點なり此地々質肥沃にして蔬菜の類は沿線中第一と稱せらる又北海道廳の經營に係る所の有名なる模範的桑園は當驛を距る西北約十町幾春別の對岸なる市來知村にあり其名高し亦當驛の南位凡二哩の地に幌内驛あり戸數一千餘を有し人口一万に達す商店の軒を連ねて市街頗る繁盛なり此地は炭礦會社の四大炭山の一にして幌内支線

の終點たり炭礦の地勢たるや東西は連峯疊嶂し漸次近接しつゝ南方に於て接合す而して炭山は其山勢の逼る所にあり此炭山は明治四年開拓使の開坑に係りたるものにして同二十一年炭礦會社の創立と共に拂下げをを受け而して今日に至れり近時一ヶ年の採炭高實に二十万噸に及べりと云ふ

● 幾春別驛

當驛は空知郡幾春別村にあり幌内太の北方約四哩の地にあり人口一千餘戸數四百餘を有し幾春別炭山の所在地たり此炭礦は明治十三年に發見し同十八年農商務省に於て始めて開坑に着手し同二十二年炭礦會社にて拂下げを受け爾來採炭に従事しつゝあり近時一ヶ年約十萬餘噸の採出ありと云ふ又前世紀の遺物なりと稱せらるアンモナイノートの化石は當村の上流約一里餘の所に現存せり

● 歌志内驛

歌志内驛は空知郡歌志内村にあり人口七千戸數一千を有し四圍山嶽を以てし而して炭礦會社の空知炭山所在地なり東方上歌志内に在るを上歌志内炭山と云ひ下歌志内に在るを下歌志内炭山と稱す其兩炭山を合せて礦區坪數六百五十七万千百八十坪餘を有し一ヶ年の採取炭高二十万噸餘なり此兩炭山を稱して空知炭礦と總稱せり

● 妹背牛驛

當驛は増毛郡妹背牛村にあり附近の地質豊肥にして農業最も盛なり其内本道模範的大農場としては蜂須賀農場及び本願寺農場戸田農場等あり就中蜂須賀農場の如きは十萬餘圓の資金を投じ灌漑溝を設け水田を開發し以て米質の如き最も好良なる聞あり而して亦北方十三里にして天鹽國の海岸に達す此地は鱈の漁場として有名なる留萌港なり同地は戸數一千餘人口一万に近く其他水産物最も多く亦炭層に富む當市は近時鐵道敷設或は築港工事等の計畫あるを以て世人の注目を惹けり亦

西方に方り増毛港あり戸數一千餘人口七千餘を有し増毛支廳の所在地にして又海産に富む鱈及び鱧の漁場として盛なり其産額の如き本道中屈指の聞ある良濱なり

● 神威古潭驛

當驛は上川郡神威古潭村にあり(カモイコタンとは神の在す所と云ふ意にしてアイヌ人の以て神とせし所なり)石狩國二大原野を扼する咽喉地にして山岳重疊石狩川の奔流瀝にして深潭を成し巨岩奇石兩岸に連り春夏秋冬四季の光景絶佳にして本道中唯一の風光を極む之れ實に一幅の浩畫圖なりとす

● 旭川驛

旭川町は上川郡にあり本道中屈指の大都市にて今や戸數八千を超へ人口三萬餘を有し商勢實に盛なり上川の地たるや本道の中央部に位し海を抜くこと約四百尺餘四面山を繞らし殊に東方に當り北海第一の高山と稱すべき釧山聳立し山姿雄大異

北 海 之 友

に北海の重鎮たるに背かず石狩忠別美瑛の三川原野を貫流し合して一河となり宛ながら銀蛇の如く神威古潭の狭谷に入り石狩原野に駛走す當市街は此原野の西部三川合流點の東部に位し南西は忠別川を以て神居村に連り北は石狩川を隔て、鷹栖村と相對しウシエベツ川を以て永山村と境し東は防風林を以て東旭川に接す而して面積約七十二万坪餘あり

市街を分ちて東西を一丁目より二十丁目として南北を九條に區分し其他宮下通り常盤通りとなす旭川停車場は宮下通りにあり其れより一條通りとなり順次北に逐ふて九條通りに至る現時最も繁華なる市街は一條通り二條通り三條通りとし常盤通りは遊廓の在る所にして共に繁盛なり其内一條通りの如きは銀行會社旅館商店等兩側に軒を連ねて櫛比し壯大なる建築少からず商況の如き亦實に見るべきあり金融機關としては北海道拓殖銀行旭川支店あり亦北海道銀行旭川支店あり其他二三の銀行あり以て當市の商況如何に盛んなる押して知るべし

官公衙の内其重なるは上川支廳警察署區裁判所稅務署町役場郵便電信局電話局上

北 海 之 友

川農事試驗所上川中學校上川高等小學校上川尋常小學校其他町立私立等の校舎あり旭川憲兵屯所上川二等測候所あり亦市街を距る東北一里の所に第七師團等あり工業としては北海道鐵道廳の所管なる上川工場は明治三十一年の創業にして常に數百人の職工を使役し機械の製造或は修繕等に從事し其規模最も大なり次ぎに大日本燐寸軸木株式會社は本道に於ける軸木製造業者の共同組織に係るものにして資本金三百萬圓を以て藤本清兵衛氏社長たり其工場巨大にして盛んなること本道中唯一の大製軸會社なり其他神谷酒造合資會社旭川釀造所今井合名會社旭川醬油釀造所あり共に品質精良なりと傳ふ其外森軸木製造所向井米麥精搗所大黒肥料製造所要素肥料製造所上川製纜所田中木挽工場佐々木工場館脇煉瓦製造所等ありて共に盛んなり

遊園地は翠香園階樂園旭川公園等にして其内翠香園は芍藥牡丹菖蒲其他珍奇なる千樹芳草あり以て有名なる花園なり其他半日園は曙通り番外地にあり種々珍奇の草花を栽培し旭ヶ岡は市街を距る約一里の地にあり南は美瑛川北に忠別川を控へ

友之海北

高燥の地にして近く市街を俯瞰し石狩嶽を指顧の間に望み風景實に絶佳なり殊に櫻花の時節には萬岡一面花と化し市人の杖を曳くもの亦多し然して忠別川を隔て、神樂村に神樂岡あり地勢高燥此所に登臨すれば脚下に旭川市街を瞰て上川原野は双眸中に在り眺望の風光頗る絶景なり

四十四

●士別驛

士別驛は天鹽國上川郡士別村にあり戸數七百人口三千を超ゆる大村落なり此地は明治三十二年五月屯田兵第三大隊第五中隊を現今市街地の北方に移住せしめたるを初めとして其後三十三年八月北海道鐵道開通と共に旭川及び札幌方面の交通便利となるに連れ地味の肥沃なるにより上士別下士別の兩原野は忽ちにして開墾せられ今は商店市街に軒を連ねて商況亦盛なり

●名寄驛

名寄驛は天鹽國上川郡上名寄村字名寄太にあり戸數七百餘人口二千五百有餘東に山岳を負ひ中部は低き山脈丘陵相連り天鹽川及びフレベツ川ナヨロ川の横流する平坦肥沃の原野數方に亘るの地なり而してナヨロ川流域より天鹽川沿岸までの原野を名寄原野と云ひ天鹽川兩岸の地に分立する平野を下名寄原野と稱す有名なる嵐山は停車場を距る僅かに十二三町の處にあり山頂平坦にして二段を成し右方は天鹽川の清流あり左方は名寄市街あり前面に名寄川を控へて斷崖絶壁連亘し實に眺望絶佳なり

●下富良野驛

下富良野驛は石狩國空知郡富良野村字下富良野村にあり戸數一千餘人口五千を越ゆ而して東西八里南北十四里の大村落にして本道の中央に位し商況亦盛なり尙年と共に移住者増加する有様にて農業甚だ盛況を呈し札幌農科大學第八部用地及び東京農科大學演習所其他大農場牧場等あり十勝線に於ける第一の繁榮なる地たり

四十五

友之海北

友之海北

工業としては富良野産業株式會社の木挽工場及び軸木製造所等あり樹林は空知川上流より落合に至る中間に大樹巨木繁茂し木材軸木枕木等の産地として最も著名なり其他農産物は大豆薯蕷の類を其重なるものとす尙停車場を距る約二里の地にトナシユベツ川ありて此川より砂金を産出す亦オブタケ硫黄山麓よりは良質なる花崗石等を産し亦同村上富良野村には有名なる十勝岳の壯觀あり其高さ五千九百八十尺餘あり南北に聳ゆる高山にして昔時は一大噴火山なりし今尙舊噴火口を存し硫黄に富み温泉處々に湧出するを以て近時温泉場を設置し亦以て浴客の此所に遊ぶもの少なからず其外中富良野村あり名の如く富良野村の中央にあり農業亦盛なり

四十六

● 帶廣 驛

當驛は十勝國河西郡帶廣町にあり戸數一千餘人口亦七千に達し十勝大原野の中央に位し四方開闢一點の目を遮ざるものなく街區整然所謂四通八達の便を有し旭川

友之海北

釧路間に於ける有數の都會たり市街は廣濶にして大商店會社銀行倉庫等軒を駢べて繁盛を極む而して此附近一帶は地質豊肥にして農業牧畜の業頗る盛なり今其重なる二三を擧ぐれば池田農場坂東農場高島農場近藤農場利別農場高倉牧場十勝開墾會社津田開墾會社晚成會社利別牧畜會社等とす工業としては製米所軸木製造所を主とす
官公衙は河西支廳區裁判所警察署町役場郵便局稅務署十勝監獄測候所其他學校農事試驗所等あり寺院及神社は市街の各所に散在し各派の說教所等も設けられたり此地十勝石の産地にして石質黑色玉の如きを以て各地に輸出し種々の美術品を製作し其名最も高く販路の如き實に廣大なるものあり亦當驛を距る凡一里の地にアイヌの部落ありて其名を伏古村落と稱し今猶純然たるアイヌ風俗を存するを以て好古家の研究資料を得るの好適の地なりとす

● 池田 驛

四十七

友之海北

池田驛は十勝國洞寒村字池田村にあり戸數五百人口三千を有し前面一帯は利別川の流に添ひ水深くして舟楫の便頗る宜し此地は平坦肥沃にして農業家の適地たり

本驛は網走線の交叉點として着々歩を進めつゝあれば本線全通の曉には北見方面一帯の旅客及貨物等は悉く一度は當驛を通過すべきを以て將來大に發展し十勝中屈指の繁榮を見るに至らん亦農牧場中重なるは舊藩主池田侯爵の經營に係る農牧場を最大なるものとす而して農場は中川郡洞寒村及び様舞村信取村に跨り反別八百余町歩を有し亦牧場の地積百二十余町歩を有す小作人戸數百二十三戸あり目下牧牛の數五十余頭なるも現時大に擴張の計劃中なれば近き將來に於て著しき頭數の増加を見るに至るべし同農場は農業の發展を計り小作人の保護獎勵に務め以て一戸分に付き其必要に應じて日歩四歩以下の低利を以て三十圓を限り元資金として貸與し其他必要の農具及び種子亦是小作人の依頼に應じて買求めの勞を採り生産品の如きも同農場にて買入れ或は委託販賣の周旋を爲す等小作人の爲

友之海北

め有益至便の方法を設け小作人を保護獎勵せるを以て其成績頗る宜く漸次生産額を増加せしめ隨て人口の増加を見附近一帯の農民は何れも池田農場の潤澤を享け以て土地の開發農業の進歩實に偉大にして見るべきあり而して我本道開拓上最も偉大なる裨益を與へ農場中の模範たり

● 釧路驛

當驛は釧路國釧路町にあり戸數三千人口一万五千餘を有し本道中屈指の都市なり本市は東海岸唯一の要港にして實に天然の良港なり而して港内水深く五尋以上八尋位を保ち東經百四十四度廿三分十二秒北緯四十二度五十八分三十六秒の地に位し三方陸を環らし西南は瑠璃一碧天を涵して太平洋に而し其面積四百五十七方里之れを釧路厚岸川上阿寒白糠足寄の六郡に分つ國の西北一帯は山嶽起伏し雄阿寒岳雌阿寒岳の高山聳立し山嶽連亘すと雖も概して急傾斜少く港に知人岬に連續する約半海里の暗礁は自から天然の防波堤を爲し港内五十万坪以上の築堤の基礎を

友之海北

造れり而して現今は大艦巨船常に碇泊す海底は概して砂泥なるを以て船舶の繫留に便なり然りと雖も西南の風起るや之れを防ぐの途なし是れ本港の修築を急ぐの所以なり當港は原名を(クスリ)と稱し舊土人の語にして超ゆると云ふ意味にして未開なる蝦夷の一部落なりしが天明年間松前藩の支配に屬し寛政の始め佐野孫兵衛氏に漁場を受負はしむ享保二年に至り函館奉行の所管となり海老名喜兵衛氏に請負を命じたるも文化二年再び佐野孫兵衛の請負ふところとなり更に文政四年松前藩の所管に屬す弘化元年に至りて海邊警備の爲め成員を置き知人岬に砲臺を築き燈明臺を設く安政四年佐野孫兵衛氏初めて南部地方より移住民を募る之れを釧路移住者の嚆矢とす其れより明治二年蝦夷を北海道と改め以て開拓使の直轄となり佐賀藩をして之れを支配せしむ同三年佐野孫兵衛亦奥羽地方より移住者二百三十五戸を募り而して之れに家屋漁具等を與へ釧路地方に移住せしむ同四年佐賀藩の支配を免し同五年根室支廳の管轄に屬す同十五年廢藩置縣に際し根室縣の管下となり同十八年釧路郡に郡役所を設けらる然して同十五年廢藩置廳と共に北海道

友之海北

廳根室支廳の屬管に移り同二十年支廳の廢止と同時に本廳に於て直轄する所となり同三十年官制の改正に依り釧路郡役所の廢止あり次いで釧路支廳の管下に歸す同三十三年北海道一級町村制施行の結果釧路郡に真砂町幣舞町浦見町米町洲崎町の五區に分ち他に釧路村佳戀村の二村を合せて以て一つの自治團體を形成せり而して後入舟町又編入せられたり回顧すれば本市は明治三年佐野氏奥羽地方より移住民を募集せし當時は實に微々たる一漁村に過ぎざりしも今や一變して本道屈指の都市を形成するに至る亦佐野氏の功績少しとせず而して工礦漁及び商業等日に月に繁盛となり其底止する所を知らず如斯釧路港の將來は日進月歩の勢を以て亦年と共に益々隆盛ならんこと必定なり現下當港に於て幾多設備の俟つべきもの甚だ少しとせず目下中央政界を動かしつつある築港問題の如き即ち其一つなり茲に頗る魚眉の急を翹ふるものは機橋架設の一事たり亦以て當港進歩の現況上一日も其架設の急にすべからざるは余も亦希望して已まざる所なり農業は現下耕地六千八百七十町歩余にして就業者八千人に近く而して海岸方面に居住する者は漁業を

友之海北

五十二

兼務するあり農耕專業者は常に馬耕器械を使用して畑作に従事する者多し然りと雖も原野廣大伐根の如き所々に殘存し未だ地積の整理十分ならず隨て收穫の如きも少量を免れざるも年と共に收穫の増加を見るならん農産中重なるは大麥小麥裸麥燕麥大豆小豆玉蜀黍黍胡蘿蔔午麥蘿蔔馬鈴薯等なり

漁業は附近の沿海魚介或は海藻の類に富めるを以て漁業者亦多し然れども沖合漁業遠洋漁業に従事するもの少く多くは沿岸に於て漁業に従事す其重なる種類は鮭鮭鱒鱒鮭鮭大鮭目拔鯛白魚牡蠣北寄蜆昆布等を主とす亦厚岸郡厚岸の湖には有名なる牡蠣を産し其他本道中稀れに見るところのカバチエツプの如きも阿寒郡阿寒湖に産する亦少しとせず

牧畜の業は地勢一體急傾斜の個所少く牧畜に適せる土地多きを以て斯業に従事するもの少からず現今畜類を飼養しつゝある牧場の如き僅かに二十八に過ぎず亦數の如きも牛馬を合せて万余頭にして羊豚或は鶏の類も少計に過ぎず去れど目下當業者は改良蕃殖に期圖しつゝあれば現下貸付中の地積二万八千町歩の牧場成功し

友之海北

尙此外に殘存する幾千万坪の牧場適地利用せらるゝに至れば斯業界大に見るべものあらん亦白糠村には一万五千町歩の牧場を有する軍馬補充支部ありて軍馬を育成しつゝあり川上郡にも同補充部の豫定牧場二万三千坪余を有せり而して北海道廳の種畜場に屬する豫定地の如きも亦厚岸郡に存在す尙當釧路に關する私立牧場の重なる個所の總地積九百六十五万五千九百九十五坪ありて牛馬を收容せり要するに釧路國は土地及び氣候共に牧畜業に適し且つ又牧場適地として原野廣大なる地積を有せるを以てなり亦殖民區劃地は其數三十六ヶ所面積一億六千五百万坪に達し國內各地にあり而して西部地方の殖民地は氣候概して温暖地味良好加ふるに交通至便なる故に日を逐て移住者増加し故に貸付地積の激増するに至れり其他も地味亦良好とす

鑛業中其重なるは石炭及び硫黃の類にして之が採掘に従事するもの亦多し目下石炭の試掘に係るもの約三十八、二千三百万坪採掘鑛二十一、六百八十万坪余なり

一 硫黃山は阿寒郡飽別村に一ヶ所川上郡斜路村に一ヶ所あり共に産額一万圓余を産

五十三

友之海北

兼務するあり農耕專業者は常に馬耕器械を使用して畑作に従事する者多し然りと雖も原野廣大伐根の如き所々に残存し未だ地積の整理十分ならず隨て收穫の如きも少量を免れざるも年と共に收穫の増加を見るならん農産中重なるは大麥小麥裸麥燕麥大豆小豆玉蜀黍黍胡蘿蔔午莠蘿蔔馬鈴薯等なり

漁業は附近の沿海魚介或は海藻の類に富めるを以て漁業者亦多し然れども沖合漁業遠洋漁業に従事するもの少く多くは沿岸に於て漁業に従事す其重なる種類は鮭鮭鱒鮎鮭鱒大師目抜鯛白魚牡蠣北寄蜆昆布等を主とす亦厚岸郡厚岸の湖には有名なる牡蠣を産し其他本道中稀れに見るところのカバチエツブの如きも阿寒郡阿寒湖に産する亦少しとせず

牧畜の業は地勢一體急傾斜の個所少く牧畜に適せる土地多きを以て斯業に従事するもの少からず現今畜類を飼養しつゝある牧場の如き僅かに二十八に過ぎず亦數の如きも牛馬を合せて万余頭にして羊豚或は鶏の類も少計に過ぎず去れど目下當業者は改良蕃殖に期圖しつゝあれば現下貸付中の地積二万八千町歩の牧場成功し

友之海北

尙此外に残存する幾千万坪の牧場適地利用せらるゝに至れば斯業界大に見るべものあらん亦白糠村には一万五千町歩の牧場を有する軍馬補充支部ありて軍馬を育成しつゝあり川上郡にも同補充部の豫定牧場二万三千坪余を有せり而して北海道廳の種畜場に屬する豫定地の如きも亦厚岸郡に存在す尙當釧路に屬する私立牧場の重なる個所の總地積九百六十五万五千三百九十五坪ありて牛馬を收容せり要するに釧路國は土地及び氣候共に牧畜業に適し且つ又牧場適地として原野廣大なる地積を有せるを以てなり亦殖民區劃地は其數三十六ヶ所面積一億六千五百万坪に達し國內各地にあり而して西部地方の殖民地は氣候概して温暖地味真好加ふるに交通至便なる故に日を逐て移住者増加し故に貸付地積の激増するに至れり其他も地味亦良好とす

鑛業中其重なるは石炭及び硫黃の類にして之が採掘に従事するもの亦多し目下石炭の試掘に係るもの約三十八、二千三百万坪採掘鑛二十一、六百八十万坪余なり硫黃山は阿寒郡鮎別村に一ヶ所川上郡斜路村に一ヶ所あり共に産額一万圓余を産

北 海 之 友

出ず亦工業中其重なるは富士製紙株式會社大日本燐寸軸木製造株式會社其他製材
沃度清酒燐寸小函材料製造硝子器製造工場等あり當地は石炭の豊富なるが故に前
途大に發達の域に進むるべし釧路水産製造所は其目的を諸種の水産物製造販賣
するにありて名聲頗る高し釧路港の繁華又以て知るべきなり
諸官公衙の重なるは釧路支廳警察署區裁判所釧路聯隊區司令部郵便電信局町役場
稅務署釧路尋常高等小學校帝國鐵道廳釧路出張所等あり其他見るべき建築は銀行
會社倉庫神社寺院等幾多あり亦大商店少しとせず

● 夕 張 驛

夕張驛は石狩國空知郡夕張村にあり人口四千戸數八百余を有する大村落にして炭
礦會社の四大炭山の一なる夕張炭山の所在地なり而して常に所屬礦夫六千人以上
も入り込み居るを以て隨て商況頗る繁盛なり舊炭礦鐵道沿線中唯一の繁榮地にし
て往來の旅客亦多し此炭山は炭質良好にして且つ炭層に富む而して其採炭額の如

北 海 之 友

きも一々半百万噸以上の多額に達し我國中屈指の大炭山なり而して諸種の設備に
盡ては機關に空氣力壓搾器電氣力を用ひ採炭規模の如き實に壯大にして且又器具
の完備に至りても全國稀有の大炭山と云ふを憚らず

● 室 蘭 驛

當驛は膽振國室蘭郡の南端室蘭町にあり戸數二千五百余を有し人口一万を超へ本
道中有名の地なり當市は北海全道の等一に位する大灣たる内浦灣の東端海水深く
陸地に灣入し以て一灣をなす之れ即ち室蘭港なり而して東南一帯は茫々たる太平
洋に面し西方内浦灣に瀕し北方室蘭灣に望み其北岸一帯は室蘭輪西の二村と相對
し東北僅かに一小山脈を以て輪西村に連り地勢稍や平坦なり東南より西方に至る
海岸一帯は斷崖絶壁亦少からず然れども港内廣く且水深くして南方及び東方は丘
陵相連り以て天然の防波堤を形成し風浪を遮ぎる灣口大黒島の島上に燈明臺を設
け航海者に便ならしむ實に本道に於ける南東海岸中函館港に次ぐ良港にて常に大

北 海 之 友

船巨船礙繋せり

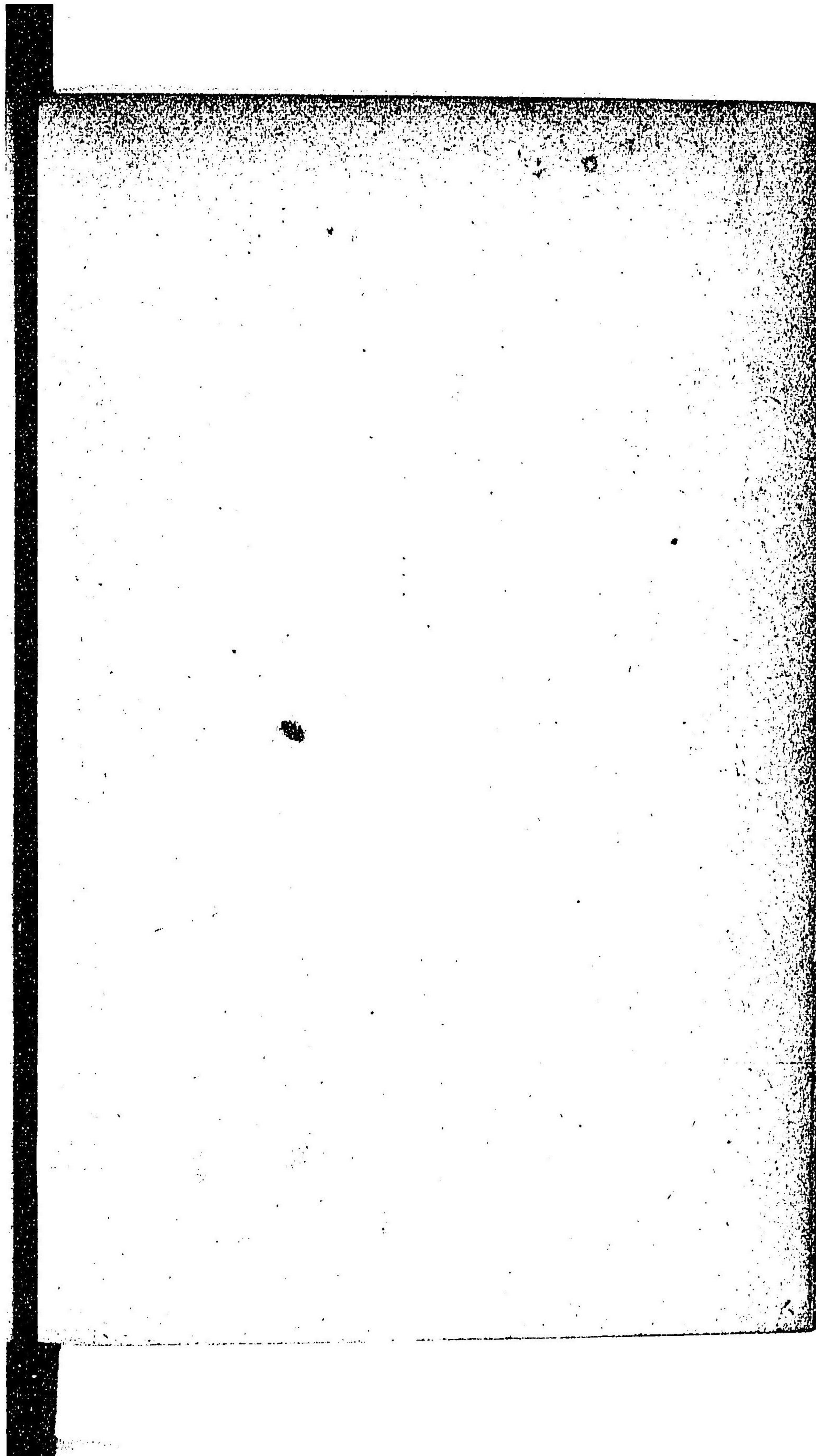
五十六

商工中の重なる二三の會社及び商店を列舉せば北海道炭礦汽船株式會社今井合名會社支店谷醬油釀造所栗林海產運送店札幌倉庫株式會社出張所最上谷商店室蘭物産市場會社共成株式會社支店北海道銀行支店等とす
交通は本道十一洲の關門にして陸は鐵道の便あり海は日本郵船會社社外船の航行常に絶へず加之海陸の連絡を計り旅客に便を與へり然して陸地は鐵道に依り札幌小樽旭川夕張炭山等に通ずる列車あり以て交通實に至便なり
漁業界に於ては著しきものなしと雖も寒暖の潮流近海に於て抱合し且つ外海灣内を腹背せるを以て魚介の類少からず而して漁期の如き殆んど一ヶ年の中絶ゆる事なく本道の割合には永きを以て販賣の上に於ても亦便なり今其重なる魚介を示せば鱒鮭鱈鱈鱈魚北寄海鼠雲丹海扇昆布海羅海苔等とす
近時に於ける工業界の發達を見るに炭礦汽船株式會社は先づ卒先して當港に製鋼事業を開始し明治四十年三月英國アームストロング會社及び同國ヒツカス會社と

北 海 之 友

共に經營の約を結び日本製鋼株式會社なるものも創立し吳鎮守府司令長官山内中將は勅許に依り現職の盛同製鋼所の顧問となり近き將來に於て斯業に従事すべき職工の當港に移住すべきもの七八千人の多きに達し當港一般の状態は大に變化し茲に一新目を開くに至るべきなり其他新夕張炭山は本港の埠頭に大棧橋を架設し本船を横付けにする目的を以て着々進行しつゝあり又三井物産合名會社は日高方面に鐵道線路を布設して木材等の運搬に便ならしめ以て當地に一大製材工場を設立せんと計畫しつゝあり其他虻田炭礦は其採掘事業を擴張し水力電氣を以て當地に礫石等を搬出せんとするの計畫を立てり尙諸種の事業は益々起らんとしつゝあり是等總てが成功の曉に至れば日本全國中屈指の繁華なる港灣となるべし實に當港の前途果して那邊迄發達すべきや殆んど豫測し難きものあり尙當驛を距る約二哩の地に輪西驛あり當村は明治二十一年石川福岡鳥取兵庫の各縣より屯田兵を移住せしめたる地にして有名なり秋冬の候には鳴白鳥等の郡集するを以て遊獵に好適の地なり

五十七



友 之 海 北

樺太之沿革

多大の犠牲を供し血と骨とを以て購ひ得たる新領土樺太島は南宗谷海峡二十四海里を隔て北海道と相對し北は北緯五十度を限り露領に接す長さ約百十里あり巾の極て狭小なるを七里位とし最も廣きは六十里に達す面積凡そ二千二百万里にして恰も本道の半部を有す而して地形は南北長く東西狭く山脈は南北に連なり平野少く然れどもポロナイ川ナイブチ川ス、ヤ川ルウタ川沿岸及チビサニントンナイチヤ間にある湖沼の沿岸の如きは皆沃野ありて農耕牧畜に適せり沿岸は漁利に富むは吾人の皆知る所にて其重なるは鯨鯨鮭鱈昆布等にして其他種々の魚介海藻等あり山野は樹木繁茂し殊に鐵物に富めり樺太の主邑をコルサコフと云ひ昔楠シムコタンと稱しアニワ灣に臨める要港にして樺太民政署を置き東方大泊には新築家屋二百餘戸旅人宿商店等有て日用品の需用には不便を感ぜずウラジミロフカはコルサコフの北位凡十里スヤス原野の中部に位し樺太民政支署あり未來有望の地たりマウ

北 海 之 友

カは又西富内と稱し西海岸第一の樞要の地にして樺太民政支署を設く目下市街建設中にて是又有望の地なり道路はコルサコフ港よりウラジミロフカを越てナイブチ以北に通ずる幹線道路ありて交通便なり其他ウラジミロフカよりブライヂチエを経てルウタカに至り又ブライヂチエよりタリチエに至る支線ありて或一部落を除く外人車馬を通ず又タリチエよりマウカに至る道路は明治三十八年假りに開鑿をなし二三里又は四五里毎に驛傳を設立しあり故に徒歩にて往來するを得るなり

氣候及農業

氣候 前記の如く原野は東と西に山脈あるが故に海岸に近き所は海上氣象の影響を受くると少きを以て冬期寒き割合に夏期温暖にして植物の生育佳良なり然して生育期は五月下旬より九月下旬迄にして府縣にて夏作物と稱するものは概ね善く生熟す雨は本道と余りに變りなく五六月に多く七八月に至りて順次減少するを以て收穫物に困難なることなし秋霜の期節は大抵九月下旬に初り春霜は五月中旬に

北 海 之 友

終る降雪は平年十月下旬より始り冬期四五尺位に達し翌年四月下旬頃には融解す樺太は本邦中最も温度低しと雖も外人の尙其北方に在りて業を營むを見れば別に生活に難き程の地たるにあらざるを知るべし今其農作の概況を示さん

- 一大 麥 五月下旬に播種し
一 反歩の收穫凡一石とす
- 一小 麥 五月中旬に播種し
一 反歩の收穫凡一石とす
- 一 稞 麥 五月下旬に播種し
一 反歩の收穫凡一石とす
- 一 燕 麥 六月上旬に播種し
一 反歩の收穫凡一石六斗
- 一 馬鈴薯 六月中旬に播種し
一 反歩の收穫凡三十五俵

友之海北

一甘藍 六月中旬に播種し

四

一坪の收穫平均凡七個

一牧草チモシー、オーチャードグラス、白クロバー等にして凡一反歩に付き乾草八九十貫目の收穫を見るを得べし其外大麻亞麻蕎麥は特有作物として有望なり又果樹にはグースベリー、カーラント等ありて胡瓜南瓜蕪菁大根人參午莠蠶豆豌豆玉葱トマトー及菜の類を播種せり

原野概況

開拓事業を成さんには第一殖民地の選定を急務とす本島に於ては未だ全部の選定を終らざるも其一部の選定せし原野を列擧すれば左の如し

選定済の殖民原野はスヤス原野ルウタカ原野の各一部とすスヤス原野に於ては其大部分を選定しミツリヨフカ、リストウエニーチノエ、ホムトフカ、バリシヤヤエラニ、ウラジミロフカ、ブライジチエ、トロイツコユ、ダリチエ、ルゴウオエ、

友之海北

ノオアレクサンドロフスコエ、スヤス、ブスタキーの八ヶ村に亘り地積三万一千三十四町歩其内農耕適地六千七百十五町歩とす

植物地味 スヤス川ルウタカ川其他河川の本流支流の沿岸一帯は濶葉樹林多くして其内楡を最とす赤楊ハシトイ柳槭櫻等之れに次ぎ樹下にはヨブスマサフ、ヨモヤ、ヤマンテツ、ハンゴンサウ、イダドリ等繁茂し土性は上層腐植質の壤土にして下層は植質壤土又砂質壤土にして其肥沃なること本道の沃地に同じ此沿岸濶葉樹林の外は多く針葉樹林にして落葉松蝦夷松等繁茂し樹下には雜草密生し居れり又農耕牧畜等を爲すにも適せり村落は概ね道路に沿ひ半里乃至一二里隔て、各處に人家あり皆耕作牧畜に従事し河水大概ね清良にして飲料に適し又所々に井戸を穿て清水を得るなり

農民の移住地

本島の移住地 同島に於て農民の移住地の二三を示せば左の如し

五

北 海 之 友

一 バリシヤエラニ此部落はスエス原野の内において幹線道路に沿ひてホムトフカの北位三十三丁の所に在り河畔肥沃の地たり故に農耕に適する地域亦以て少からず

一 ホムトフカ此部落はスエス原野の中において本島幹線道路の要驛にしてコルサコフの北位七里十丁の所にあり又ウラジミロフカより二里十四丁の南に位するホムトンバの沿岸は地味肥沃にして農耕に適す

一 タリ子エ此地はブライジ子エの西北一里四丁に位しウラジミロフカより西海岸マウカに通ずる道路にしてスエス原野の内にある部落なり土地最も肥沃にして數多の開墾地あり農耕地として將來有望の地なり

一 ブライジ子エ此部落はスエス原野の中においてウラジミロフカの西方十一丁スヤス川と軍川との落合に位しルウタカ方面及マウカに通ずる道路の分岐點にあり河岸の地は肥沃なり又濕地あるも排水するときは容易に開墾し得べし軍川以西の地は針葉樹に富み又以て耕地とするに足る

北 海 之 友

一 ルウタカ此部落はアニ灣の北位一里ルウタカ川の東岸にありウラジミロフカを距ること九里十五丁とすルウタカ原野の内において河岸は地味肥沃にして農耕に適す然れども間々潮風の害あるやも知るべからず又冬期に至りては氷雪上に馬糞(荷車)を用ひて海岸九里半にしてコルサコフに至るべし又ルウタカ川は此部落迄小蒸汽船の航行容易なれば將來ルウタカ原野に於ける旅客貨物の集點地として頗る有望の地なり

漁業の概況

樺太島に於ける漁獲の豊富無盡藏なるは今更ら喋々するまでもなく從來小樽函館地方に於ける經濟界の消沈を支配するを以て見るに既に其全貌を推想するに難からず而して水産中既に開發の緒に就きたるは鱈鮭鱒昆布の五種にして其内鱈は産額最も多く約二十万石を超へ將來尙ほ開發の望あり漁具は建網と曳網とに限られ建網一統の收穫高は凡千石以上三千石位とし稀に三千石に近き收穫を見る事あり

り鱒は一ヶ年の收穫平均二万石内外にて鱒は四千石位とす此二種の事業は今や其極點迄で發達したるもの、如し昆布は從來マウカ附近に於てのみ採取せしかば其産額も僅に六千石内外に過ぎざれども近年各沿岸に於て採取するに至れば幾倍の增收を期し得べく鱒も亦從來僅に二百石位の收穫ありしも該魚の沿岸に群棲すること夥たしく漁業者の企業に伴ひ將來其收穫すること増加するや疑なし其他北奇貝帆立貝鱒大鱒等魚介の豊なること北海道と異なることなし

移住農民と其保護

移住農民は寒暑の變動に耐ゆる身体の強健と強固なる精神を以て成るべく孤立を避け少なくも五戸以上の團體を組織して渡航するを佳とし未開の地は一人獨力を以て地を開き漁を利するの敢て不可なしと雖ども數百里の海山を越へて新版圖に經營するものなれば知らず、故山の空を眺め歸郷の念やみ難く終に以前の大望も中途にして杜絶するの憂なきとも限らず故に移住民にして尤も得策なるは各郷

里より團體を組織し渡航する方宜ろしかるべし斯くの如き團體は一旦郷里を離なれたる曉は共同一致の精神を起し自然親密に交り相救ひ相助け快樂は勿論苦難を分ち相勵み自ら勉めて其の業に従事するを得れば自然政府より貸付せられたる沃野は忽ち變じて美しくし耕作地となり團體の所在は一の村落をなし益々拓殖の途開かるべし殊に政府は團體の移住民を獎勵し特に良地を貸付し開拓を勧め各所に村落を形成せんとするをや苟も本島に移住して事業を起さんと志すものは左の資格を要す

- 一 本島に移住するの覺悟ある事
- 二 身体強壯にして農業に耐ゆる者二名以上ある事
- 三 移住後秋季まで一家を支持し得る資力ある者
- 四 性行不良ならざる者

家屋及土地の貸付は移住農民に限り戸毎に建物並に宅地三反歩以内及び其附近の未開地七町五反歩を貸付し移住の初年には特に二町歩以内の既墾地を一時貸

付せしむるものとす(軍令第四十四號官有地貸付假規則を就覽すべし)

一種子の貸付 移住の初年約二町歩に播種すべき穀物の種子を貸與せらるへし今其種子の割合は左の如し

大麥四反歩 小麥四反歩 稗麥四反歩 燕麥三反歩 馬鈴薯三反歩其他の蔬菜類の種子の如きは各自用意する事又其種類は甘藍大根菁蕪菘豌豆菜豆等を可とす(署令第十三號種子貸付規則を參照)

一牛馬及豚の貸付は戸毎に官有牛馬又は小豚各一頭づゝ貸付して之れより生れたる犢牛仔馬を以て返納す然して各部落に共同放牧場を設け又官には種牛及種馬を備へ置き巡回交尾せしめ牛馬の改良を計る計畫あり(署令第十四號家畜貸付規則を就覽すべし)

次に移住の中大工鍛冶木挽等の職工にして農業を兼ねんとするものは家族の開墾勞力に堪ゆるもの限り許可せらるゝなり

開墾及耕種

本島移住民は最初家屋及若干の既墾地を貸與さるゝ故に初めて移住の時より著しき不便を感じる事なし

種子は前に記する如く移住の初年は官より二町歩に蒔付くべき種子を貸與さるゝ故蔬菜類の外は皆之れにて足るべし然れども尙不足のものは各自用意の必要あり但し府縣の種子は氣候の違ふ爲め多くは不作勝なれば携帶するの要なし又期節短くして生育する蔬菜類の如きは府縣の種子にても適當すへし其外夏期の作物及草花の類は各自持參して試作するも可とす然して播種の期節府縣より短き故農業者は其時期に後れざる様蒔付を爲すべし又初年に豫期の收穫なきとせば其困難少からざるものあるなり

新墾は府縣に於けるが如く丁寧にせんよりは北海道流にて手軽くして多く開墾するを良しとす先づ鋸及鋤を以て伐木し枝を纏めて燒棄て下草は延焼せざる豫防を

北 海 之 友

なし乾燥の時を見て焼き拂ひ又は刈りて焼き然る後唐鍬を以て開墾すべし本島は北海道の如く笹の繁りたる處なき故開墾は一層容易にして樹林地一反歩に付き熟練すれば八九人位にて事足るなり再墾は普通唐鍬を用ゆるも樹根なき畑地にはブラオ及びハローを使用するもの多し草取にはホーレーキ等を用ひ又樹根なき畑地にはカルチベーター(除草器)を使用すれば功程甚だ速なり又新墾地は肥沃過ぎるが爲め麥の種類によりては莖幹のみ繁茂し結實少きことあり斯る場合には馬鈴薯を作るを可とす燕麥其他の蔬菜類も亦相應に收穫あるなり家畜は之れを愛養し運搬又は耕作等に使用し或は牛酪其他畜産物を製造すると共に肥料をとりて畑地に施すべし然して初めより收穫多きに安じ肥料を怠る時は後に至り損失あるは勿論なれば農民は皆々注意すべし

渡 航 案 内

本島は府縣より氣候寒きが故に春季渡航する者と雖とも冬季の仕度を整ふるを良

北 海 之 友

とす老人又は婦女の仕度には分けて注意を怠るべからず荷物の類は夜具を第一とし其他衣類家具農具等にして破損し易きもの又荷嵩の大なるもの、外は成るべく持參するを可とす

渡航の順路は小樽よりコルサコフ間は郵船會社の定期船ありて平年四月より十二月迄とす又線路は函館小樽線に接続し而して函館小樽と府縣との間は常に汽船の往復あるを以て移住者は皆函館及小樽にて乗り換す又此外社外船の函館小樽より本島に渡航するもの御からず又冬期の外毎月一回以上敦賀七尾伏木夷新瀉函館小樽を経てコルサコフに航海するあり故に日取りの都合に依り之れに乗るを便とす然して上陸後の保護に付きてはコルサコフ又は大泊の上陸地には官費を以て移住者の休泊所を設けられ上陸後目的地へ出發する迄の間無料にて宿泊せしめ便宜を與へらるべし又同所より移住地に至る沿道の驛遞及旅人宿には特に契約ありて宿料又馬車賃共割引をなし置かるゝなり

北 海 之 友

地名改稱 樺太の地名中左の通り改正すべき旨告示せられたり

| 舊名 | 新名 | 舊名 | 新名 |
|-------|------|---------|-------|
| コルサコフ | 大泊 | ウラジミロフカ | 豊原 |
| マウカ | 眞岡 | スヤス川 | 鈴谷川 |
| ナイブチ川 | 内淵川 | ポロナイ川 | 幌内川 |
| タライカ | 多來加湖 | アニツ灣 | 亞庭臺 |
| テルベニア | 多來加灣 | ノトロ岬 | 西能登呂岬 |
| シントコ岬 | 中知床岬 | テルベニヤ岬 | 北知床岬 |

郵便局名改稱 樺太ウラジミロフカ支局を豊原局とマウカ局を眞岡局と改稱せられ又大泊出張所を大泊本廳と改めらる

決心 移住者は必ず移住地を以て永住の地と定め開墾の業を成功して以て此處

北 海 之 友

に新郷を開くの決心を有する事を第一とす

冬期の注意 人は忙わしき時より閑なる時に善からざる風に染み易しきものなれば冬期長さ本島不良なる人に親しまず山師心を起さず又大酒或は賭博の群に入らざる様最も注意すべし冬期伐木炭焼俵編み其他畜産上の製造麻類繊維の製造農具の修繕其外何事に依らず些細の事にてても打棄て置かず働くべし爐邊を圍んで善からぬ事をなし又無益の事に貴重なる時間を送るべからず

衛生 北海道は例せば原野の移住民は最も健康なり之れ即ち其氣樂なる生活にあり衛生の秘訣は決して六ヶ敷ものにあらず朝夕新鮮なる空氣を吸ひ心を安んじて運動するにあり

協同一致 移住民は共に心を合せて親密なる交際をなし相助け相勵み以て善良の風俗を維持し事業の發展を計り然して必ず一部の平和を害する如き舉に出でざる心得あるべし

家屋 官より貸附せらるゝ家屋は其以前露人の住居したるものにして多くは丸太

北 海 之 友

を以て造り暖爐其他の構造防寒に適し衛生上最も宜しきが故に妄りに改造せずして之れに住居するを可とす

十六

金融機關 中央金庫取扱として北海道拓殖銀行の出張所ありて事務を取扱ふ其他二三銀行あり

教育 廳立小學校としては現時大泊第一小學校ウラジミロフカ第二マウカ第三小學校の三ヶ所ありて兒童の教育をなせり

賃金 コルサコフに於ける賃金は普通人夫一圓位として鍛冶工一圓七八十錢大工一圓四五十錢木挽職一圓廿錢以上鳶人夫又同じとす時に依つて多少の高低ありと

移住
手引 北海之友 終り

◎よみ落す勿れ◎

●次號豫告

本道に於ける實業家其數素より千百を越すと雖も其最も傑出したるは何人なるべきやを廣く社會に表彰せんとし各位の求めに應じ肖像並に履歷談又は成功談、立志談事業談等を順を逐て本書に記録し北海に於ける實業家を永く天下後世に傳へんとす御賛成の諸賢は遠慮なく續々御投稿あらん事を望む
初號は發行期日の切迫と當商會の準備完成ならざりしを以て重要な記事にして次號に譲りしもの尠からず故に第貳號に於て一層の光彩を放たんとす諸彦幸に其意を諒せられよ
次號は菊版形紙數約三百頁而して假名を附す

◎よみ落す勿れ◎

北海之友發行所

行發期定月九十月四年每

本誌壹回分廣告料

| | | |
|-----|-----|-------|
| 寫真版 | 壹頁 | 金貳拾圓也 |
| 同紙裏 | 半頁 | 金拾貳圓也 |
| 表紙裏 | 壹頁 | 金四拾圓也 |
| 裏紙裏 | 同 | 金五拾圓也 |
| 裏表裏 | 同 | 金參拾圓也 |
| 普通 | 同 | 金拾四圓也 |
| 同 | 半頁 | 金七圓也 |
| 同 | 四分壹 | 金四圓也 |

其他雜報欄又ハ指定廣告は普通廣告之三割増但し前金之事
 追て 廣告又は寫真版其他御相談は御一報次第社員差遣
 (市外は郵便)にて精々御便利に御取扱申べく候

北海之友廣告部

特約大販賣店

◎賣捌店は全國至る所の書籍店にあり

| | |
|-------------|--------|
| 小樽區花園町二丁目 | 喜多村屋書店 |
| 小樽區色内町二十五番地 | 河東書店 |
| 小樽區色内町 | 佐勘書店 |
| 函館區地藏町一番地 | 小島大成堂 |
| 札幌區南壹條 | 富貴堂 |
| 岩見澤 | 明治堂 |
| 東京市神田區 | 東京堂 |
| 大坂市西區九條町 | 堀田航盛館 |

明治四十一年九月二十五日印刷
明治四十一年九月二十日發行

不許複製

定價金參拾錢

北海道小樽區花園町

編輯者

堀田量

量

札幌區北一條西三丁目二番地

印刷所

文榮堂活版所

小樽區花園町十四番地

發行所

堀田商會

17
340

會賞博大國各外內
領受牌賞銀金

手搦

本間賢次郎

小樽市信濃町番地



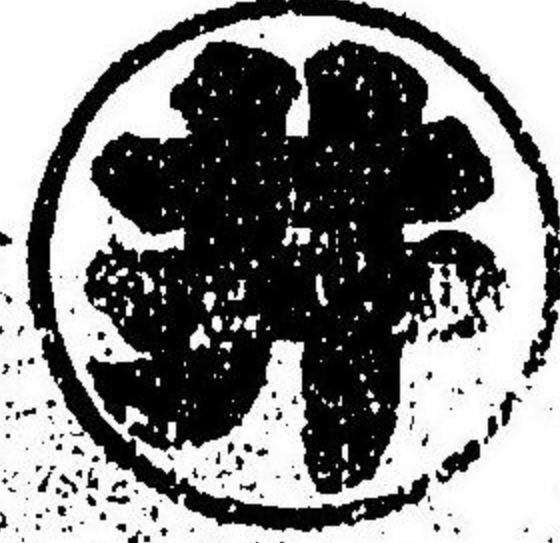
醸造元

大塚市

河盛又三郎

電話 七〇七

油醬豆最



今井合名會社

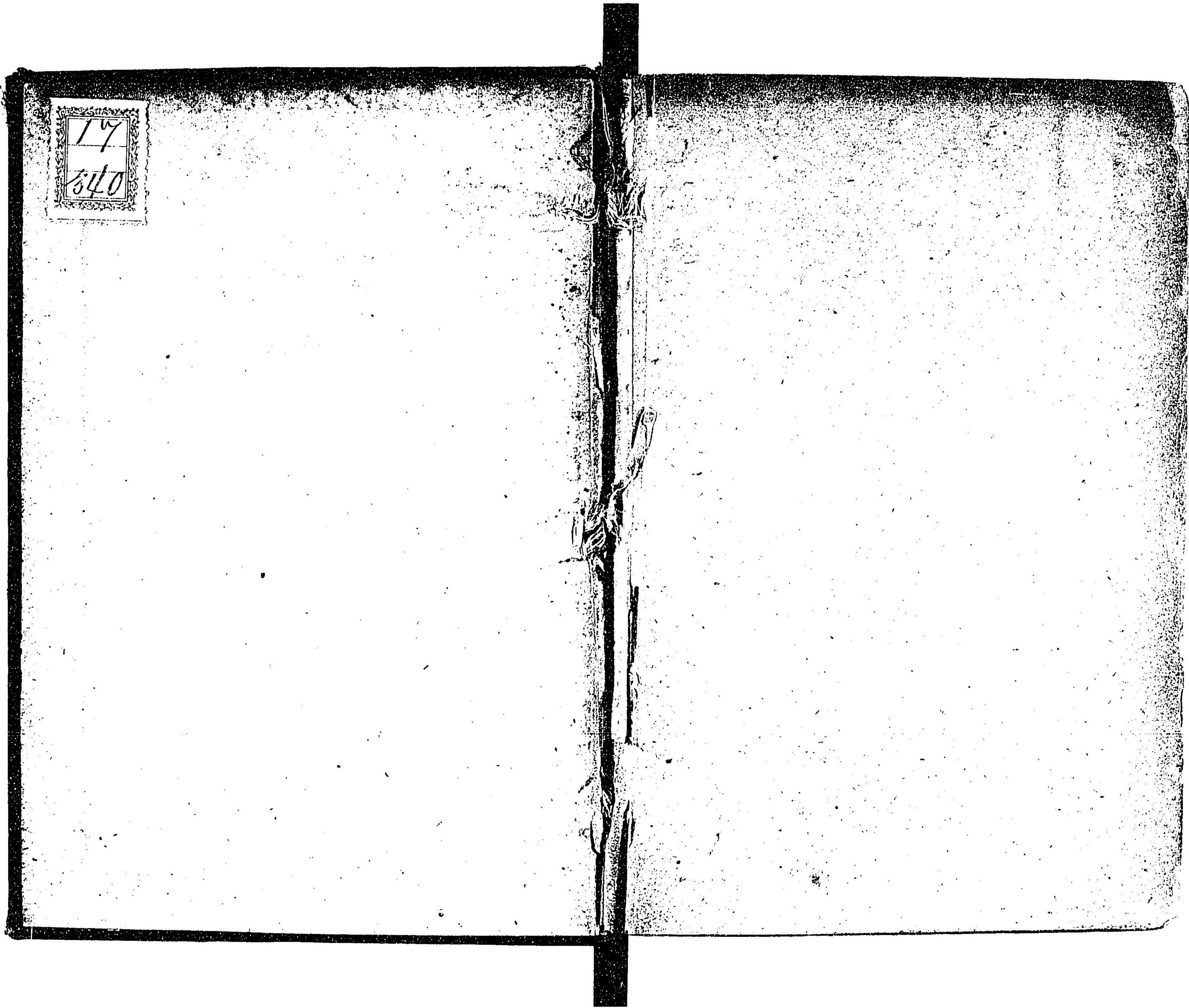
山橋吳服店

電話 (一七九) 話 (九百五)

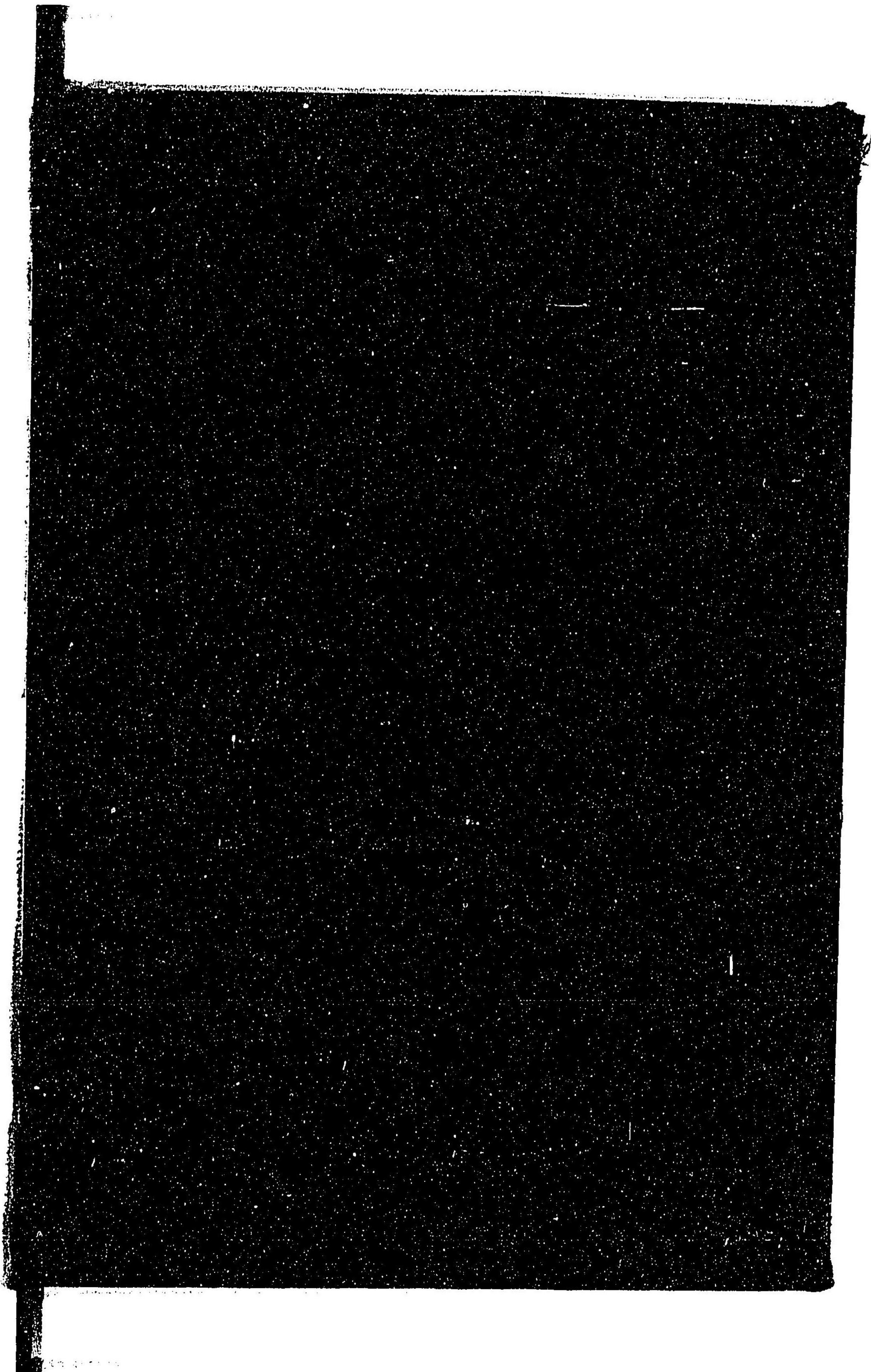
橋洋物店

電話 (五九) 話 (三)

| | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|
| 京大東岩瀧 | 同 | 同 | 旭 | 函 | 同 | 州 |
| 都天京見 | 川 | 蘭 | 鷺 | 川 | 館 | 曉 |
| 止士仕 | 澤 | 支 | 支 | 支 | 支 | 支 |
| 入入 | 支 | 支 | 支 | 支 | 支 | 支 |
| 店店店 | 店 | 店 | 店 | 店 | 店 | 店 |



17
340



17
340

(M)

023289-000-4

17-340

北海之友(移住手引)附, 樺太案内

堀田 量/編

M41

ADC-0163

